



鷲野 聡明 議員

## 総合斎苑のさらなる利便性向上を

### 質問

総合斎苑が完成し、はや10ヶ月。多くの市民にさらに利用しやすい施設として再スタートできる事を念じて質問する。

斎苑の建設総事業費と年間維持管理費は。月平均の式場の利用数、待合室で初七日法要の利用数は。

また、2つの立派なセレモニーホールの利用率が低いのはなぜか。

午後5時までと定めているのは、市民本意の運営とはとも感じられない。さらなる

利便性向上を多くの市民は望んでいる。

総合斎苑の管理運営の見直しで初七日法要の2時間延長の制限をなしにしては。

### 市民生活部長

建設総事業費は2億8千200万円。年間の維持管理は、23年度は7ヶ月分で2千800万円。24年度は約4千500万円を予定している。

昨年9月から本年5月まで

の利用状況は火葬45件、式場の利用は78件。率として17・29%である。

月平均の式場の利用数は9ヶ月で8.7件、そのうち初七日の利用件数は月平均6.8件。どの程度の利用率でよいと判断をするかは大変難しい。

### 副市長

参考にした

関市や安城市の使用率は、35%から45%くらいの範囲で推移している。愛西市も施設は立派で、利用もしやすいので、1年2年後、利用率の向上には絶対つながっていくと思っている。

### 市長

いろいろと指摘をもらい、ありがたい。同じ考えで見直ししてきた。現状

	①	②	③	④	⑤	⑥
火葬開始時間	10時30分	11時30分	12時30分	13時30分	14時30分	15時30分
告別式開始時間	上記「火葬開始時間」に合わせて、告別式開始時間を設定してください。					
初七日（待合室）	2時間以内	2時間以内	2時間以内	2時間以内	1時間以内	

待合室の状況

の形でしばらく進める。5時以降は、無制限にはできない。

## 自治基本条例作成へのプロセスは

### 質問

自治基本条例策定市民委員会の委員20人が決まり、5月

には第2回全体会議が実施された。策定の目的と手順、方法について、市民にもわかりやすく説明を求める。

行政、市民、小・中学生、高校生、議会、どのような形で意見集約を図るのか。

住民投票制度の制定は、近隣自治体への事前情報共有と相互理解が必要ではないか。

### 教育部長

地方分権の趣旨を踏まえ、市民、議会、行政の役割を明らかにし、自治に関する仕組みや制度の基本を定め、市民自治の確立、市民が主役のま

ちづくりの実現を目的に制定する。

手順、手法は市民委員会として幅広く市民の意見を集約し、条例に盛り込むべき内容を検討、その検討内容を職員が条文化し、広く市民にパブリックコメントを求め、調整を図った中で、議会へ条例の制定をお願いする。

一年前のアンケート調査では、策定済みが県内で12自治体。海部津島地区は予定はない。近隣市町へ今度情報発信に務めていきたい。